# 労災レセプト電算処理システム対応 (アフターケア)

2021 年 2 月 25 日 (初版)

日本医師会 ORCA 管理機構

# = 目 次 =

1.	アフターケア委託費の電子レセプト化について	. 1
2.	日レセ対応バージョン	. 1
З.	対象医療機関及び対象診療年月	. 1
4.	患者登録—労災自賠保険入力での「アフターケア」登録	. 1
5.	システム管理「2005 レセプト・総括印刷情報」の設定	. 1
6.	アフターケア処置材料(特定器材)について	. 2
7.	「傷病の経過」について	. 3
8.	アフターケアレセ電データの作成	. 4
9.	アフターケアレセ電データの作成(個別指示)	. 5
10.	ファイル保存等	. 8
11.	「データ取込」からのアフターケア返戻ファイル取り込み	11
12.	カナ氏名チェックと文字の自動置き換え	18
13.	新設された労災医科診療行為マスタについて	19
14.	未対応の機能	19

= 改定履歴 =

【初 版】令和3年2月25日

#### 1. アフターケア委託費の電子レセプト化について

労災レセプト電算処理システムは、令和3年3月からアフターケア委託費の電子レセプト化に 対応しました。詳細については、厚生労働省のサイトを参照ください。 <u>https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou\_roudou/roudoukijun/rousai/rezept</u> system/index.html

#### 2. 日レセ対応バージョン

アフターケアレセ電データは、日レセver5.1以降で作成が可能です。 令和3年2月25日提供パッチプログラムを適用ください。

#### 3. 対象医療機関及び対象診療年月

労災指定医療機関(システム管理「4001 労災自賠医療機関情報」で労災指定医療機関が 「1 指定あり」と設定された医療機関)で、かつ、令和2年12月以降の診療分について、 アフターケアレセ電データの作成が可能です。

#### 4. 患者登録—労災自賠保険入力での「アフターケア」登録

日レセでは平成20年4月1日以降で現在の損傷区分(傷病コード)の対応を行っており、 「アフターケア」登録をする際にはシステム管理「4001 労災自賠医療機関情報」の有効開始 年月日を平成20年4月1日以降で区切って登録しておく必要があります。 ※「アフターケア」登録をする際に現在の損傷区分(傷病コード)が表示されない場合は、 システム管理「4001 労災自賠医療機関情報」の有効開始年月日を確認ください。

#### 5. システム管理「2005 レセプト・総括印刷情報」の設定

(1) レセ電出力区分「アフターケア」

アフターケアレセ電データを作成する場合は、レセ電出力区分「アフターケア」を 「1 入院外」で設定します。

※令和2年12月以降の労災指定医療機関が「0指定なし」の場合は「1入院外」の 設定はできません。(デフォルト設定は「0出力なし」)

2	1		管理情報-レセプト・総括	印刷情報器	g定·労災補()	病院00					
							0000	0000	) ~	99999999	
	レセプト・基本1(1) 基本1	(2) 基本2	労災・自賠責 レセ電	編綴順	特別療養費	総括表	主科設定	点検用			
	レセ電出力区分 社保	3 入院・入院外	•		履歴保存の	有無		1 行なう		•	
	国保	3 入院・入院外	<b></b>		ファイル出	力先設定		4 システム	管理設定	場所(MO用)	
	広域連合	3入院·入院外	•		保険者が特定 該当レ1	定できな セプトの	い災害 レセ電記録	1 記録する		•	
	労災	3 入院・入院外	•		レセ電デー	タチェッ	クの有無	0 チェック	しない	•	
	アフターケア	1 入院外	•		広域連合作	成区分		1 国保分と	広域連合	分をまとめて作成	•

- (2)「レセ電データ出力先」「CD-R出力」「履歴保存の有無」「ファイル出力先設定」 「光ディスク等送付書作成」「光ディスク等送付書媒体設定」は、医保分・労災分と 共通設定とします。 尚、光ディスク送付書作成機能は、現在未対応です。
- (3)「レセプトコメント(症状詳記)記録区分」は、設定内容に関わらず「0 レセ電デ ータに記録する」と見なします。(症状詳記は作成しません)

6. アフターケア処置材料(特定器材)について

アフターケアをレセ電データにより提出する場合、自宅で使用する材料に係る費用を算定する 際は「特定器材コード」にアフターケア処置材料(在宅)「789888001」を記録し「商品名及び 規格又はサイズ」に材料の名称を記録、

又、それ以外の場合は「特定器材コード」にアフターケア処置材料(その他)「789888002」を 記録し「商品名及び規格又はサイズ」に材料の名称を記録する必要があるため、

アフターケア処置材料の診療行為入力は「058」で始まる特定器材商品名コードでマスタを作成 し、入力を行う必要があります。

※アフターケア処置材料(在宅)「789888001」及びアフターケア処置材料(その他)「789888002」 については、令和3年2月25日提供パッチプログラムに併せてマスタ更新データを提供済み

(例) 058000101 でマスタを作成した例

2		(Z08)点数マスタ設定-器材商品	品名設定 - ORCA病院 [or		_ o x
058000101	〇×社ネラトンカテーテ	JL R 2.12	. 1 ~ 999999	99	【ユーザー管理】
有効年月日	R 2.12. 1  ~ (	99999999			
カナ名称	マルバツシャネラトンカラ	テーテル			
漢字名称	〇×社ネラトンカテーテノ	ŀ			
商品名称	〇×社ネラトンカテーテル	ı			
金額	50.00				
単位コード	007 本	•			
算定器材コード	789888001 有効	期間 R 2.12. 1~999999999	金額: 0.0	0 金額種類:2 都道府県購入	価格 単位:000
	アフターケア処置材料(イ	E宅)			
商品名	名称一覧 番号	製品名		規格	
ì	選択番号				
複写元コード					
戻る	削除	入力CD 前回複	写前頁次	頁 検索	登録

## 7.「傷病の経過」について

レセプトの「傷病の経過」欄、及び、レセ電データのアフターケアレセプトレコード(レコー ド識別「AR」)に記録する「傷病の経過」は、「24 会計照会」で「Shift+F4 コメント」、又は、 「22 病名」で「Shift+F5 コメント」を押下すると、「C50 コメント入力」に遷移しますので、 「AA 労災レセプト「傷病の経過」」を選択後、内容を入力します。

27	(CSO)コメンドスカ・分叉袖圓弱腕での中「[offinaster]	
	E S40 10 10	アフターケア診療日
	340.10.10	番号 診療日
<変 更>		1 R 3 2 15
番号 診療年月 診療科 入外 保険組合せ	診日 △ R 3. 2 2 外来 ○ 00 全科指定 ◇	2 R 3 2 1
1 R 3. 2 外 労災保険 ア(せき	) 01 0001 労災保険 ア (せき髄) ♀ 2	2 10.2.1
		<u></u>
		_
		-
	K	>
	1	
	▲ 蛍災レセプト [傷病の経過」	
	lot and	
		=
٠ III		
選択番号 1		
複写開始年月 複写月数		
	前頁次頁	<b>女例登録番号</b>
戻る クリア 削除 変更	コピー 前月 次月 文例登録 文例選択 入力	↓ 登録

<補足>レセ電データの記録について

・記録する文字データが100バイト以内の場合は、 アフターケアレセプトレコード(レコード識別「AR」)の「傷病の経過」に内容を 記録します。

・記録する文字データが100バイトを超える場合は、

アフターケアレセプトレコード(レコード識別「AR」)の「傷病の経過」に 「症状詳記に記載」と記録し、内容は症状詳記レコード(レコード識別「SJ」)に 記録します。

## 8. アフターケアレセ電データの作成

(1)「42 明細書」で事前に労災レセプトの作成処理を行います。 (レセプトの印刷は必要ありません)

2 (R03)レセプ	卜作成-作成指示 - 労災補償病院001	41 [ormaster]							
印刷区分 レセプト新規作成 <	2 入院外 ♀	1 提出用レセプト 、適用済>	\$						
● 一括作成 診療年月 R 3.2									
医保	●劳災	自賠責	〇公害						
○全件		○新 様 式							
23	(RID1)確認画面								
1005									
会和 3年 2月分新根作成如理	(蛍災)を行います								
戻る		C	ок						
() 個別作成									
○ 医 保									
〇労災									
○ 自賠責 (新様式)									
○ 自賠責(従来様式)									
○ 自賠責(第三者行為)									
〇 公 害									
		ſ							
	再印刷 印刷区分	一括/個別 生保等入力	木明水政止     入・外     処理結果       主科設定     情報削除     確定						

(2)「44 総括表・公費請求書」で入外区分を「2 入院外」とし「F4 労 AF レセ電」 を押下します。

(診療年月が令和2年11月以前の場合、	「F4 労 AF レセ電」	は押下できません)
(T01)総任志·公書論世書作成,蛍巛結層病院	00141 formaster]	

(T01)総括表·公費請求書作成 - 労災補償病院00141 [ormaster]	
診療年月 R 3.2 (出力対象の診療年月を入力)	標準総括表印刷指示 — 社 保 有 国 保 有 広 域 有
調成年月日 R 3. 3. 1 (請求書に印字する年月日を入力)	レゼ電画味 <del>無</del> レゼ電広域 <del>無</del>
→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→	
☑ 総括表・社保	
☑ 当月分・月遅れ分   ☑ 返戻分	
✓ 総括表・国保	
☑ 当月分・月遅れ分   ☑ 返戻分   個別指定の保険者番号	
☑ 総括表・広域	
☑ 当月分・月遅れ分 ☑ 返戻分 個別指定の保険者番号	
□ 総括表・公害	
□ レセ電総括表・国保	
□ レセ電総括表・広域	
☑ 公費請求書	
□ 総括表・労災	
<令和2年度記載要領対応プログラム適用済>	
レセプト電算システム提供データ・公費CSV提供データ	
1 提出用 ◇ レセ電チェック Ø チェックしない ◇	
ファイル出力先 4 システム管理設定場所 (MO用) 🗘 🗘 久外区分 2 入院外 😂	
目賠責PDF     データ取込     研究     (分裂して電)     (公費CSV)     主料未設定     公費個別     (分まいして電)       戻る     (分AFレセ電)     再印刷     社保レセ電)     国保レセ電     社保集計表)     国保集	ク     ブリンタ     処理結果       計表     情報削除     印刷開始

#### (3) アフターケアレセ電データの作成処理を行います。

(T01)總括表·公費請求書作成 - 労災補償病院00141 [ormaster]	D
診療年月 R 3.2 (出力対象の診療年月を入力)	<ul> <li>─ 標準総括表印刷指示 ──</li> <li>社 保 有</li> <li>国 保 有</li> <li>広 域 有</li> </ul>
請求年月日 R 3.3.1 (請求書に印字する年月日を入力) 対象帳票 27 医保 ⑦ 労災	レセ電国保 <del>無</del> レセ電広域 <del>無</del>
<ul><li>☑ 総括表・社保</li><li>☑ 当月分・月遅れ分</li><li>☑ 返戻分</li></ul>	
<ul> <li>✓ 総括表・国保</li> <li>✓ 当月分・月遅れ分</li> <li>✓ 返戻分 個別指定の保険者番号</li> </ul>	
(TID2)確認面面	
1035	
「アフラーウアガリレビフト電算ナーラをTF成しより	
F1:戻る	F12:作成する
□ レセ電総括表・広域	
☑ 公費請求書	
□ 総括表・労災	
<令和2年度記載要領対応プログラム適用済>	
レセプト電算システム提供データ・公費CSV提供データ	
自賠責PDF     データ取込     個別指示     労災レセ電     公費CSV     主料未設定     公費個別     チェッ       戻る     労AFレセ電     再印刷     社保レセ電     国保レセ電     広域レセ電     社保集計表     国保集部	ク     ブリンタ     処理結果       t表     情報削除     印刷開始

# 9. アフターケアレセ電データの作成(個別指示)

(1)「44 総括表・公費請求書」で「Shift+F4 個別指示」を押下すると、
 「T06 レセ電作成 - 個別指示」に遷移しますので、アフターケアを選択後、
 該当の患者番号・入外区分・診療年月を入力します。

(診療年月が令和2年1~	月以前の場合、	アフターケアは選択できません)	
--------------	---------	-----------------	--

27	(T01)総括表・公費請求書作成 - 労災補償病院00141 [ormaster] – 💷 🗶
ŝ	標準総括表印刷指示     社 保 有       2     (出力対象の診療年月を入力)     国 保 有       広 域 有     上・1000日2000
	 球定月日 R 3. 3. 1 (請求書に印字する年月日を入力) レセ電広域 無 対象帳票 ☑ 医保 □ 労災
	✓ 総任書・社保
	③ 当月分・月遅れ分 ④ 返戻分
	✓ 総括表・国保
	☑ 当月分・月遅れ分   ☑ 返戻分 個別指定の保険者番号
	☑ 総括表・広域
	☑ 当月分・月遅れ分 ☑ 返戻分 個別指定の保険者番号
	□ 総括表・公害
	□ レセ電総括表・国保
	□ レセ電総括表・広域
	☑ 公費請求書
	□ 総括表·労災
	<令和2年度記載要領対応プログラム適用済>
	レセプト電算システム提供データ・公費CSV提供データ
	1 提出用 〔 ↓ レセ電チェック ① チェックしない 〕 ↓
ファ	イル出力先 4 システム管理設定場所 (MO用) 🗘 入外区分 2 入院外 🗘
目賠責PDF テータ 戻る	本         工業         工業         工業         工業         ブリック         処理結果           カパレビモ         再印刷         社保上セ電         国保レセ電         社保未該表         国保集該表         情報削除         印刷開始

29	(T06)レセ電作成-個別指示・S	的災補償病院00141 [ormaster]		
診療年月 R 3. 2		番号 受付日 回 請求	日 回 エラー件数 総件数	
請求年月日 R 3. 3. 1				<b>V</b>
○ 社保 ○ 国保	○広域 ○労災 ●アニ	19-57		
番号 入外 返 患者番号	氏名	診療年月 生年月日 種別	保険者番号 記号・番号 コード	
				=
<	ш			>
個別指示一覧				
番号 入外 エ 患者番号	氏名 診	療年月 診察日 保険者番号	健康管理手帳番号 施設 災 補	作成
				=
K		III		>
金亏 忠石金亏		入外 診療年月		
[000/9]				
戻る クリア	前除 前除 前除 前除 一個人履從 作成總 再印刷	前回作成	氏名検索	24世結米 レセ電作成

(2)対象となる請求データが複数ある場合、「T09 レセ電対象患者一覧」に遷移します ので、該当の請求データを選択し「F12 確定」を押下します。

<b>N</b>		(T06)レセ電作成-個別	指示 - 労災補償病院00141 [d	ormaster]		_ <b> </b>
診療年月 R 3. 請求年月日 R 3.	3. 1		番号 受付日	回 請求日 回	エラー件数  総合	<u>+数</u> ■ ▽
○ 社保		広域 ○ 労災	● アフターケア			
番号入外返	患者番号	氏名	診療年月 生年	月日  種別 保険者番	号 記号・番号  コード	
	94		(T00)1-# 🗬	****		
	23	00070		对家志有一見		l
	R 3. 2	00079	日医太郎			
	<u>米号 忠者番号</u> 1 00079	日医太郎	入外 診察日 外 01	保険者 補助区分	健康管理手帳番号 2013010001001	施設 夾
		HERE AND	外 15		2013010001001	
<						
個別指示一覧						
番号 入外 エ  「	đ					
						=
<						>
番号患者番号			_			
00079	選択番号 [	2				$\frown$
戻る クリア	戻る					F12 確定

## (3)「F12 レセ電作成」を押下します。

23			(T06)	レセ電作成-(	固別指示 - 労災補償病院00141	[ormaster]			
	診療年月	<b>R</b> 3. 2			番号 受付日	回請求日回	エラー件数	総件数	
	請求年月	∃⊟ (R 3. 3. 1)							$\leq$
		○ 社保 ○ 国保	○ 広域	〇 労災	⑦ アフターケア				
	番号 入外	返 患者番号		氏名	診療年月 生年	F月日 種別 保険者番	号記号・番号	⊐−ド	
									=
	<			- 111					>
	個別指示	一覧							
	番号 入外	エ 患者番号		氏名	診療年月 診察日	保険者番号 健康管	理手帳番号 施	設災補	作成 🛆
	1外	00079	日医太郎		R 3. 2 01	20130100	01001	R	3. 2
	- 7F				N 0. 2 10				₹
	<				ш				>
	番号	患者番号			λ3	外 診療年月			
Ē	a 0	IJ <i>Ŧ</i>	削除	個人履歴	作成履歴	前回作成 氏名検	*	情報削除	処理結果 レセ電作成

<sup>(4)</sup> アフターケアレセ電データ(個別)の作成処理を行います。

3	(T)	06)レセ電作成−個別指ネ	示 - 労災補償病院0	0141 [ormaster]				
診療年月 R 3.2	1		番号 受付	村日 回 請	求日    □   □	□ラー件数	総件数	
前永平月日 (1 3. 3.	 ○ 国保 ○ 広域	○ 労災 ●	アフターケア					Ċ
番号 入外 返 患者	番号	氏名	診療年月	生年月日 種類	別 保険者番号	記号·番号	⊐-ĸ	^
	<b>3</b>	(T98)レセ	電作成指示画面					Ξ
<	アフターケア分の	レセプト電算データを	r成します					>
個別指示一覧 番号 入外 エ  患者	ファイル出力先	1 提出用       4 システム管理設定	↓ 場所 (MO用)			•帳番号 方	€設│災│補│ □	作成
2 % 00079	戻る			FI	2:作成する	1	F	3. 2
								=
<			Ш					>
番号患者番号				入外 診療年月				
反る クリア	削除	個人履歴 作 再印刷	成履歴	前回作成	氏名検索		情報削除	<u>処理結果</u> レセ電作成

## 10. ファイル保存等

(1) 選択した「ファイル出力先」とシステム管理「2005 レセプト・総括印刷情報」の 「履歴保存の有無」設定によるファイル保存については以下のようになります。

	システム管理設定場所	クライアント保存	クライアント保存
	(MO用)		(CD-R用)
	システム管理 2005 に	クライアント保存時に	クライアント保存時に
	設定したレセ電データ	指定した場所に	指定した場所に
	出力先にレセ電データ	z i p形式で保存。	iso形式で保存。
	を保存。	zipファイルには	isoファイルには
履歴保存を		以下の内容が格納さ	以下の内容が記録さ
行わない	例】	れる。	れる。
	<u>提出用で作成時</u>		
	01AREC0100. UKE	例】	例】
	01AREC0200. UKE 等	<u>提出用で作成時</u>	<u>提出用で作成時</u>
		01_After_202102/	After_202102.iso
	<u>点検用で作成時</u>	AREC0100. UKE	ARECO100. UKE
	01TENA0100. UKE	AREC0200. UKE 等	ARECO200. UKE 等
	01TENA0200. UKE 等		
		<u>点検用で作成時</u>	<u>点検用で作成時</u>
	※頭2桁は医療機	01_TAfter_202102/	TAfter_202102.iso
	関識別番号	TENA0100. UKE	TENA0100. UKE
		TENA0200.UKE 等	TENA0200. UKE 等
	システム管理 2005 に		
	設定したレセ電データ		
	出力先に医療機関と	同上	同上
	年月を識別できるフォ		
履歴保存を	ルダを作成し、フォルダ		
行う	内にレセ電データ		
	を保存。		
	例】		
	01_After_202102/		
	ARECO100. UKE		
	ARECO200. UKE 等		
	占拴田本作式中		
	<u> 品 (快用 ビ TF 八 時</u> 01 TA ft or 200100 /		
	IENAUZUU. UKE 寺		

## 個別指示

	システム管理設定場所	クライアント保存	クライアント保存
	(MO用)		(CD-R用)
	システム管理 2005 に	クライアント保存時に	クライアント保存時に
	設定したレセ電データ	指定した場所に	指定した場所に
	出力先にレセ電データ	zip形式で保存。	iso形式で保存。
	を保存。	zipファイルには	isoファイルには
履歴保存を		以下の内容が格納さ	以下の内容が記録さ
行わない	例】	れる。	れる。
	<u>提出用で作成時</u>		
	01AREC0100. UKE	例】	例】
	01AREC0200. UKE 等	<u>提出用で作成時</u>	<u>提出用で作成時</u>
		01_After_202102_	After_202102_Kobetsu
	<u>点検用で作成時</u>	Kobetsu/	.iso
	01TENA0100. UKE	AREC0100. UKE	ARECO100. UKE
	01TENA0200. UKE 等	ARECO200. UKE 等	ARECO200. UKE 等
			上达四十七十十
	※ 頭 2 桁 は 医 療 機	<u> 京硬用で作成時</u>	<u>京検用で作成時</u>
	関諏別番ち	VI_IATTEr_202102_	IATTER_ZUZIUZ_KODETSU
		TENAUTUU. UKE TENAU200 UKE 笙	TENAOTOO. UKE 生
	システム管理 2005 に		
	設定したレセ電データ		
	出力先に医療機関と	同上	同上
	年月を識別できるフォ		
履歴保存を	ルダを作成し、フォルダ		
行う	内にレセ電データ		
	を保存。		
	/m.1 <b>T</b>		
	例】		
	UI_After_202102/		
	ARE60200. URE 寺 		
	│ │ 点検用で作成時		
	01 TAfter 202102/		
	Kobetsu/		
	TENA0100, UKE		
	TENA0200. UKE 等		

(2) クライアント保存時のzip形式について

アフターケアレセ電ファイルは1回の請求用に複数ファイルを作成する場合があるため、 クライアント保存を行う場合は、zip 形式でクライアントに保存を行います。 保存されたzipファイルは"unzip"コマンドなどで解凍ください。

 (3) フォルダ名について 履歴保存又はクライアント保存を行う際のフォルダ名は以下となります。
 XX\_After\_YYYYMM/
 XX\_After\_YYYYMM/Kobetsu/ (個別指示のシステム管理設定場所(MO用) - 履歴保存)
 XX\_After\_YYYYMM\_Kobetsu/ (個別指示のクライアント保存)

XX : 医療機関識別番号 YYYYMM:診療年月(西暦) After : 固定(点検用の場合はTAfter)

(4)ファイル名について 提出用に作成するファイル名は以下となります。 ARECnnmm. UKE

nn:2桁の連番 mm:00 固定

 ※1ファイルに記録できる内訳書添付枚数は最大で997件と決められていることから、 997件を超えた場合は新しく採番して別ファイルとして記録を行うことになります。 記録件数が997件を超えた場合、 AREC0100.UKE AREC0200.UKE とファイルを分割して作成します。

点検用に作成するファイル名は以下となります。 TENAnnmm.UKE

nnmm:提出用と同様の方法で付番

(5) フロッピー等への保存について (jma-receipt-fdd) ファイル出力先「3 システム管理設定場所 (フロッピィ用)」については選択不可とします。

- 11.「データ取込」からのアフターケア返戻ファイル取り込み
- (1) アフターケアレセ電データ(一次請求ファイル)に返戻があった場合に労災オンライン 請求システムで作成されるアフターケア返戻用 CSV ファイル(ARECEC. HEN)を日レセサ ーバへ取り込み、再請求ファイルを作成することが可能です。

処理の流れ(医保分・労災分の返戻再請求処理と同様です)

- 1. 労災オンライン請求システムから返戻ファイルをダウンロードする。
- 2. 返戻ファイルを日レセサーバへ取り込む。
- 3. 返戻内容に応じて日レセの入力を訂正する。
- 4. 日レセで明細書個別作成をする。
- 5. 「43 請求管理」で再請求するデータと返戻データの紐付けを行う。
- 6. 再請求ファイルを作成する。

	ファイル名	備考
一次請求ファイル	ARECnnmm. UKE	労災指定医療機関からの請求ファイル。
		[記録内容]
		医療機関情報、請求データ、アフターケア委託費
		請求書情報
返戻ファイル	ARECEC. HEN	労災指定医療機関への返戻ファイル。
		[記録内容]
		返戻された請求データ(請求データのレセプト共通
		レコード(レコード識別「RE」)に電算処理受付番号
		が付与されている)
再請求ファイル	ARECnnmm. UKS	返戻された請求データを訂正した労災指定医療機関
		からの再請求ファイル。
		[記録内容]
		医療機関情報、請求データ、アフターケア委託費
		請求書情報
		(「43 請求管理」で紐付けされた返戻データに記録さ
		れている電算処理受付番号をレセプト共通レコード
		(レコード識別「RE」)に記録した再請求データ)

ー次請求ファイルと再請求ファイルは拡張子が異なるため、別々にファイルの作成を行います。

ー次請求ファイル: ARECnnmm. UKE

再請求ファイル : ARECnnmm. UKS

nn:2桁の連番 mm:00 固定

#### (2) 返戻ファイルの取り込み

【1】「44 総括表・公費請求書」で「Shift+F3 データ取込」を押下します。

2 2	(101)総括表・公費請求書作成 - 労災柵債病院UU141 [ormaster]	
	診療年月 R 3.3 (出力対象の診療年月を入力)	<ul> <li>標準総括表印刷指示</li> <li>社 保 有</li> <li>国 保 有</li> <li>広 域 有</li> </ul>
	請求年月日 R 3. 4. 1 (請求書に印字する年月日を入力)	レセ電国保 無
	対象帳票 ☑ 医保 □ 労災	
	☑ 総括表·社保	
	☑ 当月分・月遅れ分 ☑ 返戻分	
	✓ 総括表・国保	
	☑ 当月分・月遅れ分 ☑ 返戻分 個別指定の保険者番号	
	✓ 総括表・広域	
	☑ 当月分・月遅れ分   ☑ 返戻分   個別指定の保険者番号	
	□ 総括表・公害	
	□ レセ電総括表・国保	
	□ レセ電総括表・広域	
	☑ 公費請求書	
	□ 総括表·労災	
	<令和2年度記載要領対応プログラム適用済>	
	レセプト電算システム提供データ・公費CSV提供データ	
	1 提出用 ◇ レセ電チェック 0 チェックしない ◇	
	ファイル出力先 4 システム管理設定場所 (MO用) ↓ 入外区分 2 入院外 ↓	
自賠責	FPDF データ取込 観別指示 労災レセ電 公費CSV 主科未設定 公費個別 チェッ アレータ取込 和日本 アレータ アレータ アレータ アレータ アレータ アレータ アレータ アレータ	ク ブリンタ 処理結果
大の	四方でとも、 一方中の (社体とも、国体とも、広域としも、 社体朱許衣、国体朱許	AK 1月和KHJP水 日小利用炉

【2】ダウンロードしたアフターケア返戻用 CSV ファイル(ARECEC. HEN)を選択後、 「F10 データ転送」を押下します。

2 (T01)總括表·公費請求書作成 - 労災補償病院00141 [ormaster]		_ <b>_ X</b>
	標準総括表	長印刷指示 ——
診療年月 R333 (出力対象の診療年月を入力)	社保	有
	国 床 広 域	有
	レセ電国保	無
請求年月日 R 3.4.1 (請求書に印子する年月日を人力)	レセ電広域	無
→ 対象帳票 🖌 医保 🗌 労災		<u></u>
22 (105)372742742742		
I " ARECEC. HEN III]	$\boldsymbol{\mathcal{S}}$	
No ファイル名 対象年月 送信日時 受 請 内 容 3	友 返 警  件動	2
		=
	l	J
	>	
		_
F1:戻る     F4:削除	F12:DB登翁	k l
く会和2年度記載更領対広プログラム演用は5		
~ 「「は」 + 次回りなく ボバルション ノム (小市) - カ		
	1	
□ 提出用 □ □ レセ電チェック □ チェック □ チェック □ ・	ļ	
ファイル出力先 4 システム管理設定場所(MO用) ↓ 入外区分 2 入院外 ↓	J	
自賠責PDF データ取込 個別指示 労災レセ電 公費CSV 主科未設定 公費個別 チェッ	ック ブリンタ	処理結果
戻る         労AFレセ電         再印刷         社保レセ電         国保         社保集計表         国保集	計表 情報削除	11111111111111111111111111111111111111

## 【3】返戻ファイルを取り込みます。

3	(T01)総括表·公費請求書作成 - 労災補償病院00141 [ormaster]	
	標準総括表印刷         社 保           設療年月         R 3.3         (出力対象の診療年月を入力)         国 保           広 域	削指示 ── 有 有 有
	請求年月日         R 3.4.1         (請求書に印字する年月日を入力)         レセ電国保           対象結果         反         医保         一	無無
3	(105)オンライン請求結果デーク取込	
	(なL) (main and a second	
No ファ	イル名  対象年月 送信日時  受 請  内容  支 返 警 件	
1 ARECEC, HEN	R 3.2 オンライン返戻ファイル(アフターケア)	
F1:戻る	F4:削除         F10:データ転送	
	<令和2年度記載要領対応プログラム適用済>	
	レセプト電算システム提供データ・公費CSV提供データ	
	1 提出用 ↓ レセ電チェック 0 チェックしない ↓	
7	ァイル出力先 4 システム管理設定場所 (MO用) ↓ 入外区分 2 入院外 ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	
自賠責PDF デー 戻る	・夕取込 個別指示         労災レセ電         公費CSV         主科未設定         公費個別         チェック         ブリンタ           労AFレセ電         再印刷         社保レセ電         国保レセ電         広域レセ電         社保集計表         国保集計表	処理結果 印刷開始

(T01)総括表·公費請求書作成 - 労災補償病院00141 [ormaster]		_ <b> </b>
診療年月 <u>R 3.3</u> (出力対象の診療年月を入力)	<ul> <li>標準総括表印J</li> <li>社 保</li> <li>国 保</li> <li>広 域</li> </ul>	刷指示 —— 有 有 有
請求年月日 R 3.4.1 (請求書に印字する年月日を入力) 対象帳票 V 医保 □ 労災	レセ電国保 レセ電広域	無
🎢 (T05)オンライン請求結果データ取込		
(¢L)	)	
No         フェア         (TID1)確認面面         X           1         ARECEC. HEN         1001         2           登録処理をします。よろしいですか         0         0         0	支 返 營 件()	
	<b>&gt;</b>	
F1:戻る         F4:削除         F10:データ転送	F12:DB登録	
<令和2年度記載要領対応プログラム適用済>		
レセプト電算システム提供データ・公費CSV提供データ		
1 提出用 ◇ レセ電チェック 0 チェックしない ◇	]	
ファイル出力先 4 システム管理設定場所 (МО用) ○ 入外区分 2 入院外 ○	)	
自賠責PDF データ取込 個別指示 労災レセ電 公費CSV 主科未設定 公費個別 チェ	ックプリンタ	処理結果
戻る 労AFレセ電 再印刷 社保レセ電 国保レセ電 広域レセ電 社保集計表 国保集	計表 情報削除	印刷開始



### 【4】正常に取り込みができない事例

・同じファイルを重複して取り込もうとした場合

3	(T01)総括表・公費請求書作成 - 労災補償病院00141 [ormaster]		_ <b> </b>
		標準総括表印刷	別指示
	診療年月 P33 (出力対象の診療年月を入力)	社保	有
		山 休 広 域	有
		レセ電国保	無
	請求年月日 (3.4.1 (請求書に印字する年月日を人力)	レセ電広域	無
38	対象帳票 図 医保 □ 労災	60	
2.2	(103)タンフィン師不知未了一ラ収込		
	(なし)		
	既にDB登録済のファイルです 提出先:アフターケア 処理年月:R 3.	2	
No	ファイル名 対象年月 送信日時 受 請 内 容	支返警件	
<	III		
F1:戻る	F4:削除         F10:データ転送	F12:DB登録	
	<令和2年度記載要領対応プログラム適用済>		
	レセプト電算システム提供データ・公費CSV提供データ		
	1 提出用 🗘 レセ電チェック 🛛 チェックしない	•	
	ファイル出力先 4 システム管理設定場所 (MO用) ↓ 入外区分 2 入院外	•	
		_	
		ET WA TUNA	加田結里
		(エッジ) ブリンタ (保健計事) (信報削除)	四副開始
<u> 大</u> る し し			

### ・ファイル名が正しくない場合

(T01)総括表·公費請求書作成 - 労災補償病院00141 [ormaster]		_ <b></b>
	標準総括表印刷 社 保	指示
診療年月 R 3.3 (出力対象の診療年月を入力)	国保広域	有有
請求年月日 R 3. 4. 1 (請求書に印字する年月日を入力)	レセ電国保	無
対象帳票 🖌 医保 🗌 労災	D C IE/AAA	700
(T05)オンライン師求結果データ取込		
ファイル名を確認してください		
ファイル名の長さが異なります		
No ファイル名 対象年月 送信日時 受 請 内 容 支 返	☑ 謍 件≸ △	
	H	
	>	
F1:戻る         F4:削除         [F10:データ転送]	F12:DB登録	
レセプト電算システム提供データ・公費CSV提供データ		
1 提出用 ↓ レセ電チェック 0 チェックしない ↓		
ファイル出力先 4 システム管理設定場所(MO用) 〇 入外区分 2 入院外 〇		
自賠責PDF         データ取込         個別指示         労災レセ電         公費CSV         主料未設定         公費個別         チェック           戻る         労AFレセ電         再印刷         社保レセ電         国保レセ電         社保集計表         社保集計表	ブリンタ     情報削除	処理結果 印刷開始

- (3)「43 請求管理」での再請求するデータと返戻データの紐付け
- 【1】該当患者に返戻情報が存在する場合、画面右上に「返戻データあり」と表示されます。 請求年月、返戻年月を入力し、オンライン返戻指示(返戻有チェックボタン)クリック により「返戻有」にし、紐付けを行います。

3		H01)レセプト	請求管理量	と録ー手書き記	「正入力 - 労災	補償病院0014						
診療年月 R 3. 2 患者番号	00080		入外⊵	公 提出先	レセプト	種別 健康管理	里手帳番号	傷病	の部位	(返)	<b>芺データあり</b>	
診療科	日医花子		入院分	労災	779-	<u> </u>	0001001	18			2, 18, 15+5	(1 (FA)
年齢 [41] 給付割合 []			請求年月	<u>R 3.4</u>	返戻年月 R	<u>3.3</u> ⊻ ½	以民有 請求区的	分 2 請求		訂正区分		
			請求年月		返戻年月							
	基本点数	回数	点数	公費点数1	公費点数2		基本点数	回数	点数 公	、費点数1	公費点数2	
初診				)[						)[		
指導												2
在 宅 地 華												-
注射				)[					)[			
処置												
一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一									)(	)[		=
画像診断												
ての地				)[					)(	)[		=
初診			1 4 10 10									-
丹部			1400	)[					1400			-
					<u> </u>			<u> </u>	I			-
				)[	<u> </u>			1	I			-
											) 	
								1	1	)[		=
									)		).	2
										)[		=
					)							2
				)[					)[	)[		-
												-
				)[					)[	)[		-
					) — — — — — — — — — — — — — — — — — — —			ĵ				-
												-
					)			ĵ				
3	, ,					~			17		>	ĩ
戻る クリア 前	间患者		返戻一	<b>١</b>			氏名	3検索	返戻確認		登録	

【2】「F10返戻確認」を押下し、紐付けされた返戻データの確認をします。 紐付けされた返戻データの処理年月に「\*」が表示されます。 (健康管理手帳番号の後ろに表示されている数値は診察日です)

3	(H01)レセプト請求管理登録-手書き訂正入力 - 労災補償病院0	0141 [ormaster]	_ <b>.</b> ×
診療年月 R 3. 2 患者番号 00080	入外区分 提出先 レセプト種別 健康	長管理手帳番号 傷病の部位	返戻データあり
診療科 日医花子	- 入院外 労災 アフターケア 201	3150001001 18日 足	R 3. 2.18 15:51作成
年齢 47 給付割合	請求年月 (R 3. 4) 返戻年月 (R 3. 3)	🖌 返戻有 請求区分 2 請求済 📄 訂正	E区分
	請求年月 返戻年月		
基本点数	x 回数 点数 公費点数1 公費点数2	基本点数 回数 点数 公費点	数1 公費点数2
2011 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 1	(山の)))5 戸緯銀い空		
	(1102)私庆用報政ル		
返 戻 隋 報		**** '것' ** ** 도 다 다 시	
	1 休陝省 記写・音写 肥設 火 エフー11 2013150001001 18	月報 消 萌水平月 入外 裡別	1休陕省 記
	201010001001 10		
			=
			$\checkmark$
	III.		>
			[[] 4 0 ] [] 10 mm
戻る			F12 確定
		[氏名拾索][沥豆碗汤]	(登録)
		1011天赤 丛仄道路	764 24

## 【3】「F12 登録」を押下し、登録します。

29			卜請求管理會	録-手書き訂	正入力 - 労災	甫 <b>償病院</b> 00141						
診療年月 R 3.2 患者番号	00080		入外区	分 提出先	レセプト科	重別 健康管理	手帳番号	傷病の	の部位	返房	ミデータあり	
診療科	日医 花子		入院外	労災	アフター	ታア 2013150	001001	18	日足	R 3	. 2.18 15:5	51作月
年齢 47 給付割合			請求年月	R 3. 4	返戻年月 R	3.3 🗹 返	戻有 請求区分	分 2 請求	清 🔅	訂正区分		
			請求年月		返戻年月							
	基本点数	回数	点数	公費点数1	公費点数2		基本点数	回数	点数 公	費点数1	公費点数2	
初診(							[					
再 診 (												
指得したのの												-
日本 もの 日本 し					<u> </u>			Ĩ	<u> </u>			-
注射(								Î		(		-
処置(												
手術・麻酔し												
一種物理					<u> </u>			Ĩ	<u> </u>			-
その他(										(	$\neg$	-
初診			1400						1.400			= =
49.05			1400					ł	1400			=
										(		-
(												
								<u> </u>	<u> </u>			-
								i—	<u> </u>		<u> </u>	-
Ì								Î			Dî 📃	
(												
									<u> </u>			-
					<u> </u>			i	<u> </u>			-
Ì								í			- T	-
(												
							[					-
								ŀ	<u> </u>			-
(								Ĩ				
(												
							Ļ	ŀ	<u> </u>	<u> </u>		-
								<u>}</u>	<u> </u>			=
(		Î			í — — — í			î			j	
(												
戻る クリア 前	回患者		返戻一	ñ [			氏名	3検索	返戻確認		登録	

【4】	「F10 返戻確認」	を押下し、	登録された返戻データ	の確認を	します。
-----	------------	-------	------------	------	------

2 (H01)L	セプト請求管理登録-手書き訂正入力 - 労災補償系	病院00141 [ormaster]	_ 🗆 🗙
診療年月 R 3. 2 患者番号 00080	入外区分 提出先 レセプト種別	健康管理手帳番号 傷病の部位	返戻データあり
診療科	入院外 労災 アフターケア	2013150001001 18日足	R 3. 2.18 15:51作成
年齡 47 給付割合	請求年月 R 3. 4 返戻年月 R 3. 3	□ 🗹 返戻有 請求区分 2 請求済 🗌 😳	] 訂正区分 手書き修正
	請求年月     返戻年月		
基本点数 回数	( 点数 公費点数1 公費点数2	基本点数 回数 点数	公費点数1 公費点数2
211 58	(H02)返戻情報設定		
返戻情報			
別 保険者 記号・番号 施設	災 エラー情報 済 請求年月 入外	種別 保険者 記号・社	時 補施設災済 🛆
ーケア 2013150001001 18	R3.4 外	アフターケア 20131500010	01 18 O
			=
			$\overline{\checkmark}$
<.	ui		$\triangleright$
「 戻 ろ 」			F12 確定
			TTE VEAC
戻る クリア 前回患者	返戻一覧	氏名検索返戻確認	登録

※再請求用のレセ電ファイル作成後は、エラー情報右横の「済」欄に〇印が表示 されます。

3	(H01)レセプト請求管理登録-手書き	訂正入力 - 労災補償病院001	41 [ormaster]	_ 🗆 🗙
診療年月 R 3. 2 患者番号 00080	入外区分 提出先	レセプト種別 健康管	理手帳番号 傷病の部位	返戻データあり
診療科 日医 花子	F 入院外 労災	アフターケア 20131	50001001 18日 足	R 3. 2.18 15:51作成
年齢 47 給付割合	請求年月 R 3.4	) 返戻年月 R 3. 3 🗹 🗄	医戻有請求区分 2請求済	: 訂正区分 手書き修正
	請求年月	返戻年月		
基本点数	故 回数 点数 公費点数1	公費点数2	基本点数 回数 点数	公費点数1 公費点数2
2011 122 123 123 123 123 123 123 123 123 1		) () 戸崎銀い中		
	(1102			
		这 *****		
加 休陕省 記写・借写	1000 火 エラー111戦	□ 月水平月 八介 相	別 1休陕有 記写・1	115 111 加設火済
2013130001001 1	0	0 . 3. 4 96 779		
				≡
۷				2
戻る				F12 確定
		III Y		>
戻る クリア 前回愚者	返戻一覧		氏名検索 返戻確認	登録

(4) ファイルの出力

「44 総括表・公費請求書」でのレセ電データ作成(個別も含む)において、再請求ファイル には、「43 請求管理」で紐付けされた返戻データに記録されている電算処理受付番号をレセ プト共通レコード(レコード識別「RE」)に記録して出力します。

再請求ファイル(ARECO100.UKS)の記録例

(電算処理受付番号をレセプト共通レコード(レコード識別「RE」)に記録)

IR, , 13, 1, 1234567, , ORCA病院, 202102, , 03-12	234–5678					
RE,1,,,日医 花子,2,19730909,,,,,,,00080,,,,	, 12345123451234567890, <mark>,</mark> 503045030220210218155118, , (省略)					
AR, , , 2, 15, 2013150001001, , , , 20210218, , , ニチィ ハナコ, , , 順調, 0, 0, 1400, , , 1400						
RI, 12, 101120010, . , 1400, 1,						
AS, 2, 20210501, , , 2345678, 1130021, 東京都文京区	5本駒込2-28-16,日本 -,1150,1400,1,					

#### 12. カナ氏名チェックと文字の自動置き換え

レセ電データのアフターケアレセプトレコード(レコード識別「AR」)に記録する「労働者の 氏名(カナ)」は姓名を全角カナで記録することとされており、記録できる文字が決められて いることから、システム管理「2005 レセプト・総括印刷情報」のレセ電出力区分のアフター ケアの設定が「1入院外」の場合は、データチェックでアフターケアレセ電の記録仕様を考慮 したカナ氏名チェックを行います。

データチェックでは、確認項目「患者氏名」でのチェック時に以下の表にない文字がカナ氏名 に含まれている場合にエラーとします。

(ア) <b>*1</b>	ア	(1)	イ	(ウ)	ゥ	(I)	I	(4)	オ	カ	ガ	+	ギ	ク	グ
ケ	ゲ	П	П	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ	ダ
チ	ヂ	(ツ)	ッ	ヅ	テ	デ	7	ビ	ナ		ヌ	ネ	ノ	ン	バ
パ	F	ビ	Ľ	フ	ブ	プ	^	べ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	III	<b>□*2</b>
Д	X	Ŧ	(ヤ)	ヤ	(エ)	ユ	(∃)	Ш	ラ	リ	ル	レ		(ヮ)	ワ
(井)	(エ)	ヲ	ン	ヴ	(カ)	(ケ)	<b>—*3</b>								

\*1:小文字の"ァ"など()書きの文字についてはアフターケアレセ電上無効な文字ですが、 レセ電ファイルを作成する際に大文字に変換する等、有効な文字に置き換えを行なっている ため、データチェックではエラーとしていません。

変換例

変換前	変換後
小文字の"ァ"	大文字の"ア"
<b></b>	イ
ч	Н

\*2: 全角空白

\*3: 全角長音: 全角ダッシュ、全角マイナス等の入力は、データチェックではエラーとして 扱いますが、レセ電ファイルは全角長音に置き換えて記録を行います。

データチェックのエラーメッセージ(■の部分がエラー箇所となります)

#### 13. 新設された労災医科診療行為マスタについて

日レセでは、システムの都合により、以下の3コードを厚生労働省が公開したコードとは 異なる9桁コードでマスタを作成して提供しています。 ※令和3年2月25日提供パッチプログラムに併せてマスタ更新データを提供済み

【重要】

アフターケアレセ電データ作成時は厚生労働省が公開したコードに置換して記録を行います。

日レセ提供コード	名称	厚生労働省公開コード
101609010	全身状態の検査	102600010
101609020	自覚症状の検査	102600020
101609030	精神及び神経症状の一般検査	102600030

## 新設(適用:令和2年12月1日)

## 14. 未対応の機能

以下の機能には対応していません。

・光ディスク送付書作成

レセ電データチェック